

## 指定避難所の運営について

避難所は避難者による自主運営です  
下記のような組織を立上げ、運営にあたります

特に避難者が多い場合は、混乱し、厳しい環境も予想されます  
積極的に運営に参加し、お互いに協力することが必要です  
また、避難所では出来るだけ体を動かして心身の健康を保ちましょう



### 総務班

- 避難所のスペース、通路等の設定
- 市災害対策本部との連絡調整
- 苦情等の相談窓口の開設

### 避難者管理班

- 避難者受付、名簿作成
- 入所者・退所者の情報収集
- 外部からの安否確認対応

### 情報広報班

- テレビ、ラジオ、インターネット等から情報収集
- 避難所内の広報の実施、「伝言板」の作成



### 物資・施設管理班

- 市から届く物資の受入れ、在庫数の把握
- 施設の安全確保と危険個所の対応
- 防火・防犯対応



### 衛生班

- トイレの確保、衛生管理
- ゴミ集積所の設置及び管理
- 生活用水の確保



### 救護・要援護者班

- 病人、けが人、要援護者の把握・対応
- 病人、けが人の医療機関への移送

### ボランティア班

- ニーズの把握、ボランティア受け入れ窓口の設置、受付
- ボランティアセンターへの派遣要請

### 食事・炊き出し班

- 市災害対策本部から届く食料の受入れ、在庫管理
- 計画的な配布、炊出し



### 医療救護所

震度6以上の地震等が発生した場合、中学校区を基準に医療救護所が開設されます。寿地区近隣の開設場所は以下のとおりです

●筑摩野中学校 ●並柳小学校 ●中山小学校 ●明善小学校

# 寿地区 防災パンフレット



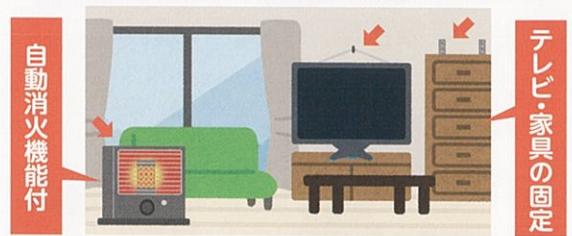
大地震への備えはしていますか？ このパンフレットを参考に自助、共助（隣組や町会などの地域）で災害に備えましょう！

## 日頃の備えが大切です

家庭の状況に合わせ、日頃の備えについて家族で話し合い準備に努めてください

### 1 家の安全対策

- 昭和56年以前に建築の建物は耐震診断を受けましょう
- 大型家具や電化製品等は、固定金具を使って正しく固定
- ストーブは自動消火機能付きとし、周囲には燃えやすいものをおかない



### 2 最低3日分 (出来れば7日分)の水・食料などの備蓄

- 水（一人3㍑/日）
- 食料（アルファ米、缶詰、インスタント食品など）



日々使う食料品・生活必需品を少し多めに購入して古いものから使い、使った分を買い足す「ローリングストック」を心がけましょう

### 3 日用品などの備蓄

- 食器（使い捨て） ●タオル・毛布 ●カセットコンロ
- 救急セット ●懐中電灯 ●簡易トイレ、携帯トイレ
- 下着・靴下 ●防寒着 ●保温シート
- 石油ストーブ（FF以外）など



### 4 非常持出品の準備

（最低限のものをリュックに収納）

- 飲料水 ●非常食
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯（電池）
- 携帯電話・充電器
- タオル ●カイロ
- 携帯トイレ
- 医薬品
- 運転免許証（コピー可）



●発行／寿地区地域づくり協議会



# ！ 地震が起きたら ！

## 1 地震発生

- ・落ち着いて身を守る  
(倒れてくる家具や落下物に注意し、机の下などにもぐる)
- ・ドアや窓を開けて逃げ道を確保



## 2 地震のゆれが収まつたら

- ・火の始末、ガスの元栓、ストーブ、ヒーターなどをチェック
- ・家族の安全を確認
- ・靴をはき、ガラスの破片から足を守る
- ・持ち出し品を用意



## 3 落ち着いたら

- ・テレビ、ラジオ等で情報を確認
- ・隣近所に声を掛け無事を確認  
(特に高齢者や身障者などの世帯の安否を確認)
- ・指定避難所へ向かう前に町会で定められた一時集合場所で安否を確認



## 4 避難するときは

- ・避難する場合は、町会単位の自主防災組織などの指示でまとまって行動しましょう。車は使用しない  
(自宅が安全な場合は、一時集合場所で安否確認後、自宅にいることも可能)
- ・自宅の駐車場等で車内に避難する場合は、エコノミー症候群に充分注意
- ・自宅を出る場合は戸締りをし、電気のブレーカーは切り、玄関に行き先のメモを残す



家族と連絡が取れなくなったら(災害用伝言ダイヤル等の利用)

### 災害用伝言ダイヤル「171」

被災地の方が録音した情報、他の地域から被災地の方へメッセージを送ることも可能  
利用方法「171」をダイヤルし、ガイドンスに従って伝言の録音・再生を行う

### 災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、パソコンやスマートフォンから安否確認ができる「災害用伝言板」サービスが提供されます  
NTT他各社でも同様のサービスが提供されます



# どこで避難生活を送りますか？

地震が起きた時、避難をするのか自宅で過ごすのか?  
フローチャートで確認し、それぞれの特徴を把握しておきましょう

ここから  
スタート

自宅は安全で  
生活が  
できますか?

生活の介助などが  
無くても自分または  
家族のみで生活が  
可能である

いいえ

指定避難所以外に安全に過ごせる  
避難場所はありますか?

親戚または友人宅、ビニールハウス、車両など  
しばらく過ごせる場所に心当たりがある  
(町会により町会公民館に避難できる場合もあります)

いいえ

親戚や友人宅

一緒に生活する人への  
配慮が必要

車両

エコノミークラスマ症候群  
にならないよう十分な  
水分や食事、運動が必要

ビニールハウス

暑さ寒さへの対策が  
必須

いいえ

指定避難所

一定の安全が確保でき、  
限りはありますが  
各種生活のサポートが  
うけられます  
(食料・トイレなど)

避難者が多い場合は  
プライバシーの確保が  
難しく、共同生活の  
ルールもあり制限の  
多い避難生活となる  
場合もあります

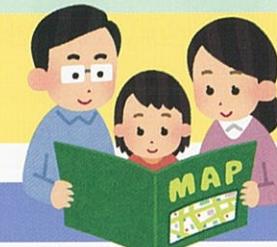
日ごろから、災害時の家族間の連絡方法や安否確認方法、集合場所、避難先などについて家族で話し合い確認しておきましょう

あなたの町会の  
避難所を確認して  
おきましょう

## 寿地区の指定避難所

### 寿小学校

小池町会、百瀬町会、白川町会、白姫町会、上瀬黒町会、  
竹渕町会、豊町町会、寿田町町会、竹原町町会、寿田川町会



### 田川高校

赤木町会

### 並柳小学校

下瀬黒町会

### 寿体育館

要援護者等

★ 災害時の状況により、町会で指定された以外の避難所へも避難が可能です